

第4回アイランドシティ低炭素型都市ビジョン検討委員会

議事要旨

■ 日時：平成23年3月10日（木）10：00～12：00

■ 場所：福岡市役所本庁舎15階 1503会議室

■ 出席者：（順不同，敬称略）

委員長	出口 敦	九州大学大学院人間環境学研究院教授
委員	青 和彦	西部ガス株式会社リビングエネルギー本部リビング営業部部長
	赤司 泰義	九州大学大学院人間環境学研究院教授
	末廣 香織	九州大学大学院人間環境学研究院准教授
	蜷川 利彦	九州大学大学院人間環境学研究院教授
	橋本 淳	福岡市環境局温暖化対策部長
	永富 伸二	福岡市港湾局アイランドシティ事業推進部長
オブザーバー	橋本 上	九州電力株式会社経営企画本部企画担当地域戦略グループ長
事務局		福岡市港湾局アイランドシティ事業推進部企業誘致課，日本環境技研(株)

■ 配付資料：

- ・第4回 アイランドシティ低炭素都市ビジョン検討委員会 次第
- ・アイランドシティ低炭素型都市ビジョン 骨子（修正案）
- ・低炭素型の快適な都市づくり～アイランドシティ低炭素型都市ビジョン～（素案）
- ・低炭素型の快適な都市づくり～アイランドシティ低炭素型都市ビジョン～（概要版）（案）
- ・アイランドシティの将来イメージ
- ・低炭素化に関する効果の算定

■ 議 事：

1. 開会
2. 議事

（1）配布資料の説明

事務局より，各配布資料の説明を行った。

（2）低炭素化に関する効果の算定について

「低炭素化に関する効果の算定」について，以下の質疑，意見があった。

委員等	・P. 18の図3.3では，研究機関と物販の割合が大きいのはなぜか。
事務局	・P. 2の図2.1に記している新産業・研究開発ゾーンには研究機関が，複合・交流ゾーンには事務所や物販が多く占めると想定している。 ・非住宅系ゾーンはまだ詳細が定まっていないため，土地面積や容積率，建ぺい率を考慮して概算したものである。
委員等	・新産業・研究開発ゾーンには，事務所等も含まれるため，全部が研究機関にはならないのではないかと。また，研究機関と事務所のエネルギー原単位は同じ値を使用しているため，事務所に統一しても良いのではないかと。
事務局	・検討させて頂きたい。
委員等	・P. 9の表2.16の建物概要は全て低層ビルとなっているが，8Fは高層ビル

- に相当すると思われる。この場合、隣接建物に影を落とさないような配慮はされているのか。
- ・太陽光発電がメインならば、建物は低層か中層にするべきではないか。設定されている太陽光発電の設置面積では、ZEBを目指すには足りないと思われる。
- 事務局
- ・基本的に全てのビルに太陽光発電を導入してもらいたいのので、日影や建物配置に関する対策については、今後の検討課題と考えている。
 - ・ZEBは中低層のビルをイメージしているので、表現方法を検討させていただきたい。
- 委員等
- ・「低炭素化に関する効果の算定」の資料はどのように扱う予定なのか。資料に記載されている数値等は、そのまま公表されるのか。
- 事務局
- ・ビジョンの公表が主であり、「低炭素化に関する効果の算定」は参考資料扱いである。
 - ・資料に記載されている数値については、一般的に公表されている値を使用しているが、西部ガスと九州電力には確認をお願いしたい。
- 委員等
- ・中期で約40%、長期で約60%の削減効果は目標値ではなく、取組みを重ねた際の見込みであり、取組みを検証する上での数値という認識で良いか。
- 事務局
- ・その通りである。
- 委員等
- ・ICは現状では何もないまちなので、削減効果と言っても、対策をしない従来型のまちと取組みを重ねたまちとを比較した場合の、CO₂排出総量の差で捉えている。その点は、丁寧に説明するべきである。
- 委員等
- ・基準年を90年にした理由は何か。
- 事務局
- ・国の基準に合わせて90年とした。
- 委員等
- ・延床面積の想定根拠が分かりにくい。
- 事務局
- ・延床面積については、想定した数値であることを明確に表現したい。ビジョン本編には記載しないが、別途、整理をさせて頂く。
- 委員等
- ・算定には、建設時におけるCO₂排出量は考慮されているのか。
- 事務局
- ・運用時のみの算定である。
- 委員等
- ・ライフサイクルの観点では、建設時や廃棄時の取組みが重要になってくると思われる。
- 事務局
- ・LCCM住宅では、建設時からの長期間の総合評価となり、従来とは考え方が根本的に変わってくるため、本ビジョンでは、ある時点での運用時に絞って算定している。
- 委員等
- ・ビジョン素案の方になるが、P.18のLCCM住宅の記載には、建設時のCO₂排出量をどのように抑えるかを、また、P.30には、運用時のみの算定であることを加筆した方が良いと思われる。
- 事務局
- ・建設時の取組みについては、ビジョン本編の中で、定性的な考え方を記載させて頂きたい。
- 委員等
- ・出来るだけ長寿命な建物であること、リサイクル材等を用いて建設時のCO₂排出量を抑えることの2点が重要である。
- 委員等
- ・P.13にあるEVの導入率は、国の導入目標より想定したとあるが、ICでの対策としては、もう少し高い目標にしても良いと思われる。この目標値では、IC独自の対策が行われていないのと同じである。

- 委員等
事務局
委員等
委員等
事務局
- ・EV車を導入しやすくする対策として、どのようなことが考えられるのか。
- ・福岡市の環境局では、既に補助金制度を整備している。
- ・IC限定の補助金制度を整備しても良いのではないかな。
- ・住宅や建築物における太陽光発電の導入設定と比較すると、EVの導入が踏み込んで設定されていないことが気になる。
- ・EVの導入目標値については、再度検討させて頂きたい。上げる場合にはその根拠が必要となるので、国の目標値などを参考にしながら検討していきたい。

(3) ビジョン素案及び概要版案について

「低炭素型の快適な都市づくり～アイランドシティ低炭素型都市ビジョン～（素案・概要版案）」について、以下の質疑、意見があった。

- 委員等
事務局
- ・概要版「第2」の趣旨に国内トップレベルとあるが、ビジョンの理念では“九州・日本・アジアにおける低炭素型都市の先導モデルを目指して”とあるので、アジアトップレベルにしてはどうか。
- ・既に国内トップレベルという目標は掲げているので、ビジョンではそれを分かりやすく示すことを目的としている。
- ・また、天津など国をあげて集中的な投資をするまちづくりとは性格が異なると考えており、ライフスタイルを含めた環境のまちという視点で、アジアのモデルとなることを目指している。
- 委員等
- ・“九州・日本・アジア”にはそれぞれ意味があり、九州では九州の気候風土の中でのモデル都市であり、日本では数値的にもトップレベルの低炭素型都市、アジアでは真似したいと思われるようなモデル都市である。
- 委員等
- ・概要版「第3」の対象地域は対象区域の方が良い。
- ・また、対象期間にまちづくり完成時とあるが、まちづくりの意味は幅が広く、まちづくりに完成はない。対象区域全域の供用開始完了時という認識で良いか。
- 事務局
- ・その通りである。
- 委員等
- ・概要版「第4」の重点分野の“環境活動”という言葉は、少し重く感じる。ここに住む住民は特別な取組みを実施しなければならないという印象を受けるので、日常生活の中で心掛けていくなど、住民目線の表現の方が良いと思われる。
- 事務局
- ・取組みを義務化するのではなく、環境に関心の高い人が自発的に参加してもらおうイメージなので、表現を検討させて頂く。
- 委員等
委員等
- ・“活動”や“生活活動”など、柔らかい言葉が良い。
- ・風力についてはほとんど触れられていないが、どのような方針なのか。騒音問題や鳥の追突問題等があるので、導入する場合は新しい形の風力発電を導入する必要があると思う。
- 事務局
- ・風力を排除している訳ではないが、風力発電を導入するには風が足りないとも言われており、積極的な事業展開が見込めるかは疑問である。しかし、太陽光発電に偏るつもりはないので、風力発電のイメージも出していきたいと考えている。

- 委員等
 - ・概要版 P. 9 の地域ネットワークのイメージ図やまちのイメージ図にも、もう少し風力を描く必要がある。
- 委員等
 - ・九州大学が風レンズ風車を開発しているので、活用を検討してはどうか。
- 委員等
 - ・素案 P. 17 と P. 18 に“高断熱・高気密化は、暖房、冷房による室温コントロールに比べ～”とあるが、「高断熱・高気密化」と「暖房、冷房」は対立概念ではなく共存するものであり、“暖房、冷房による室温コントロールに比べ”の部分は削除した方が良い。
 - ・素案 P. 26【長期】に記されている“また、ガソリン車と比較して安価な電気を利用するため、経済的にも優れています。”の部分は、FCV車には関係の無い表現なので削除した方が良い。
 - ・また、“排気ガスや騒音による影響も小さくなり”とあるが、“影響もなく”という表現で良いのではないか。FCV車のエンジンは化学反応なので、騒音もほとんどない。
- 委員等
 - ・“排気ガスの影響がなく、音も小さくなる”という表現が良いのではないか。
- 委員等
 - ・素案 P. 23(3)の[基本的方向性]に、次世代自動車は“CO₂等の排出量が少ない”とあるが、EVやPHV車の充電時は、自然エネルギーや再生可能エネルギーを利用しない限りは発電所側でCO₂を排出しているので、排出量が少ないとは言いきれないのではないか。電気自動車を使うだけでCO₂を削減できるという印象を受けるので、少し配慮した表現が良い。
 - ・素案 P. 23【中期】にも、“運転時にCO₂は排出しない”とあるが、充電時には排出されるので、表現が気になる。
 - ・まちのイメージ図には、エコカーステーションの屋根に太陽光発電を設置しているので、本文にもその点を加筆した方が良いのではないか。
- 委員等
 - ・ICは、車を使わずに歩いて買い物に行くことができる利便性の高いまちであること、更には車を使う場合にもEV車等を利用するまちであること、この2段階で考えるのが良いのではないか。
 - ・従って、次世代自動車への転換の部分と自動車以外の移動手段の利用の部分は、順番を入れ替えた方が良いと思われる。
- 事務局
 - ・ガソリン車とEV車のCO₂排出量を分析したものがあれば頂きたい。参考にして表現を検討したい。
- 委員等
 - ・概要版 P. 11 の[経済性]“電気の利用によりランニングコストが安価”とあるが、超小型であることが安価につながるので、“小型化により”と表現したらどうか。
- 委員等
 - ・ビジョン公表の趣旨は、開発事業者や住民に将来像を示すことであるが、ICの住民は、ビジョンの取組みを実施する義務があると捉えて良いのか。
- 事務局
 - ・低炭素型まちづくりの考え方に賛同、協力してくれる人達を求めている。
- 委員等
 - ・ICの住民にとって、経済性はどのように考えれば良いのか。ビジョン公表の際には、初期投資等についての質問があると思われる。
- 事務局
 - ・素案 P. 31 に経済的なメリットについて記載しているが、大事なことは、環境性・経済性・快適性を兼ね備えたまちであることであり、どれかが大きく欠如するようなことはないと考えている。
 - ・また、現状では経済的なフレームを持ち合わせていないため、“設備投資に数百万円かかるかもしれないがランニングコストで補うことができる”とい

- うような一般的なことしか言えない。
- 委員等
- ・その辺りのことは「はじめに」に加筆した方が良い。
 - ・CO₂排出量が少なく、また、イニシャルコストが高くなる分はランニングコストで補うため、まち全体の環境性・経済性・快適性のバランスがとれており、これに賛同して頂ける企業や住民を出来るだけ優先的に誘致していくという考え方である。
- 委員等
- ・現在の市場性から考えると、イニシャルコストをランニングコストによって回収できるとは断言できないのではないかと。
- 事務局
- ・経済的なメリットも享受できるという表現に止めたいと考えている。
- 委員等
- ・タイトルは「低炭素型の快適な都市づくり」とあるが、「快適な低炭素ライフの都市づくり」の方が良いのではないかと。
- 委員等
- ・“低炭素”という言葉はかたい。
- 委員等
- ・ビジョンの本文では、“まちづくり”という表現が使われているが、タイトルは“都市づくり”で良いのか。
- 委員等
- ・“都市づくり”はハードなイメージがあるので、“低炭素ライフ”など、まちづくりにつながる表現を用いてはどうか。少し工夫した方が良い。
- 委員等
- ・本日の会議では時間に制限もあるので、その他のお気づきの点については、本日の資料に記入して頂き、後日、事務局が回収することで良いかと。
- 事務局
- ・そのようにお願いしたい。年度内でまとめたいと考えているので、1週間から10日でご意見を頂ければ有り難い。

(4) イメージ図について

「アイランドシティの将来イメージ」について、以下の質疑、意見があった。

- 委員等
- ・断面図のイメージに、地域分野の取組みにあるネットワークの導入について表現してはどうか。ビル同士の見える化や、地下空間を利用したエネルギー融通等を表現すると良いのではないかと。
- 委員等
- ・オフィスビルは、もう少し幅の広い建坪率が高いイメージである。
 - ・また、もう少し庇と換気窓を強調したデザインの方が良い。
- 委員等
- ・表紙の縦長のパースは見たことがなく面白い。道路の配置や樹木の量等を修正して頂きたい。
 - ・海沿いの道路は人に開放した遊歩道のイメージになると良いのではないかと。
- 委員等
- ・ICの豊かな自然環境を活用していることがイメージできると良い。
- 委員等
- ・勾配屋根には太陽光発電の設置が表現されているが、陸屋根のビルには表現されていないので、分かるように表現して頂きたい。
 - ・風の道がイメージできるような表現があると良い。
- 委員等
- ・緑が放射状に連なるような表現をしたら良いのではないかと。
- 委員等
- ・イメージ図についても、この他のお気づきの点については本日の資料に記入して頂き、事務局で対応をお願いしたい。
 - ・ビジョンについては、頂いたご意見を踏まえて修正し、事務局と委員長で確認をした後に、最終版を送らせて頂く。

以上